

要請書

玄海原発3号機 蒸気漏れ事故 原発に慎重な立場の専門家からの意見聴取を求めます

2018年4月6日

佐賀県知事 山口祥義 様

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会／プルサーマルと佐賀県の100年を考える会
玄海原発反対からつ事務所／原発を考える鳥栖の会／今を生きる会／原発知っちよる会
風ふくおかの会／戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会／たんぽぽとりで
東区から玄海原発の廃炉を考える会／福岡で福島を考える会／あしたの命を考える会

3月30日に発生した九州電力玄海原発3号機の蒸気漏れ事故に関して、4月5日、佐賀県の副島副知事は九州電力の山元取締役と面談し、「専門家の意見を踏まえた対応」を求めました。

山元取締役も「専門家の意見やアドバイスもしっかり反映させて、対策や原因究明に万全を期したい」と答えました。

副知事が言うように「現在は、約7年間の停止期間後の再稼働という、これまで以上に慎重な対応が求められている時期」です。

であれば、この機会に、人選に問題のある県原子力安全専門部会の委員だけでなく、市民が推薦し、再稼働同意前に県が意見聴取を行った専門家を含めて、原発の配管、金属、設備などの問題に詳しい専門家からの意見を聴くことを求めます。

専門家の一人で、元東芝原子炉設計技術者の後藤政志さんが4月20日に所用で佐賀県に来られますが、この機会に佐賀県庁を訪れ、知事に面談したい旨、伺っております。

県として、配管穴あき蒸気漏れ事故などについて、後藤さんをはじめと上記専門家からの意見聴取をお願いします。